

## 第4章 環境・コミュニティ

### この章の施策の推進方針

#### 「安全・安心なまち」と実感できるように

- ・日常生活を取り巻く環境の質をより向上させるための施策の推進に努めていきます。

#### 「子育てがしやすいまち」と実感できるように

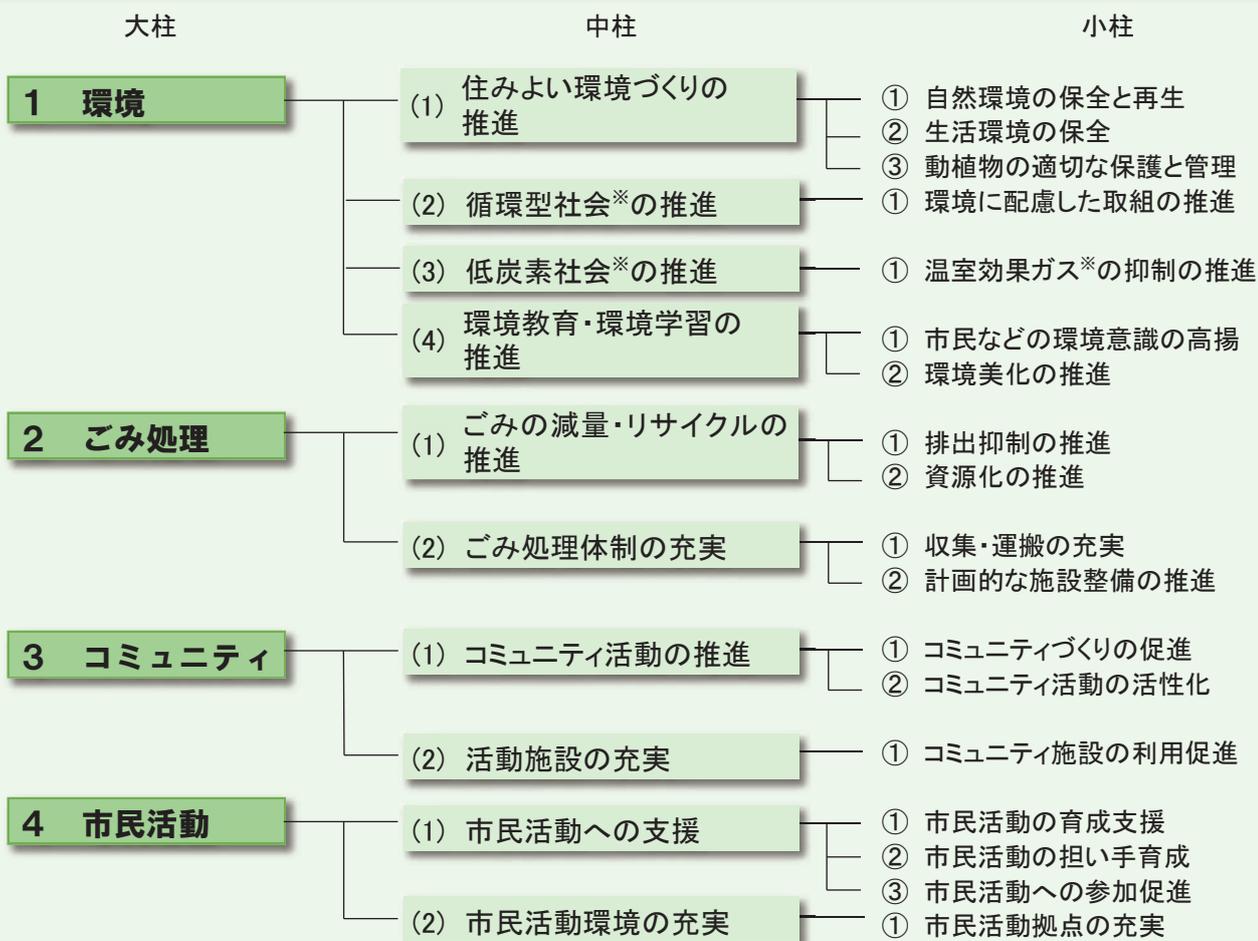
- ・環境教育や環境学習などの機会を充実します。

#### 「つながりのある元気なまち」と実感できるように

- ・地域コミュニティの要である自治会・町内会やNPO\*など市民活動団体\*の支援を継続し、住民主体のまちづくりを促進します。

#### 「自然・環境に恵まれたまち」と実感できるように

- ・自然環境を保全し、住みよい環境づくりを進めます。また、適切にごみを処理し、循環型社会\*の構築を推進します。



# 1 環境

- (1) 住みよい環境づくりの推進
- (2) 循環型社会<sup>\*</sup>の推進
- (3) 低炭素社会<sup>\*</sup>の推進
- (4) 環境教育・環境学習の推進

## 現状と課題

- 安全安心の生活環境を保全するため、本市における水質、大気などの状況を継続的に捉える必要があります。また、苦情件数は減少傾向にあるものの、騒音、振動、悪臭などの公害対策も引き続き取り組んでいく必要があります。
- 本市の魅力である快適で住みよい環境を形成してきた新河岸川、黒目川などの河川や、雑木林、段丘斜面林などの自然環境をこれからも保全する必要があります。
- 環境に負荷を与えない社会を構築するためには、市民・事業者・行政が共通認識の下、相互に連携を深め、環境に負荷を与えない活動を推進し、かつ、広域的に取り組み、低炭素社会<sup>\*</sup>の構築を目指すことが必要です。
- ペットの適正飼育について、飼い主のマナーやモラルが問われています。また、有害鳥獣・害虫などからの被害対応、希少野生動植物種の保存、野生鳥獣の保護管理など、多様な生物と市民が共生するための対応が必要です。

## 目指す姿

本市の魅力である豊かな緑と水辺が守り育まれ、誰もが健康で安心して暮らせるまちを目指します。また、環境への負荷が少なく、持続可能な社会が構築されているまちを目指します。



## 具体的な施策

### （1）住みよい環境づくりの推進 担当当課：環境推進課

#### ①自然環境の保全と再生

- 市民や市民団体と協働\*しながら緑化の推進や農地、樹林などの緑地及び、水辺の生態系の保全、河川の水質向上に努めます。

#### ②生活環境の保全

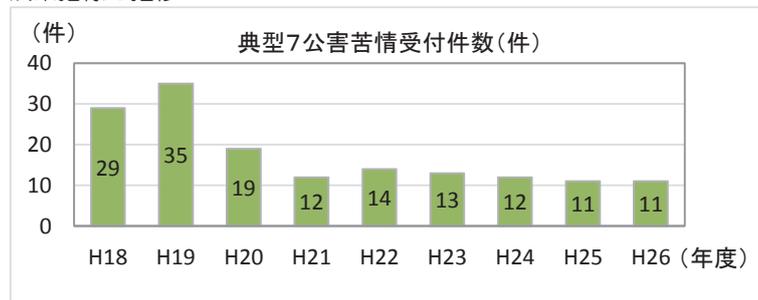
- きれいな空気・水・土を保全し、住みよいまちにするため、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭の防止などに努めます。
- 水害などで浸水が起こった場合、住環境\*の再生のため、消毒作業を行います。

#### ③動植物の適切な保護と管理

- 畜犬の適正な飼育を飼い主に呼びかけるとともに、畜犬と市民が健全な関係を保つため、畜犬の登録や狂犬病予防接種の啓発を行っていきます。
- 有害鳥獣への対処、害虫の防除や駆除など動植物と市民が共生していくために、適切な環境の保全を目指します。
- 希少野生動植物種の保存、野生鳥獣の保護管理などに当っては関係法令に基づいて適切な対応を行います。
- あき地の環境を保持するため、あき地が雑草の繁茂により不良状態にあるときには、土地所有者に適切に管理するよう指導します。

指標	典型7公害苦情受付件数	
環境基本法で定義されている、騒音・振動・悪臭などの典型7公害に対する苦情件数		
現状値（年度）	H32年度目標値	H37年度目標値
11件 (H26年度)	0件	0件

成果指標の推移



資料：環境推進課

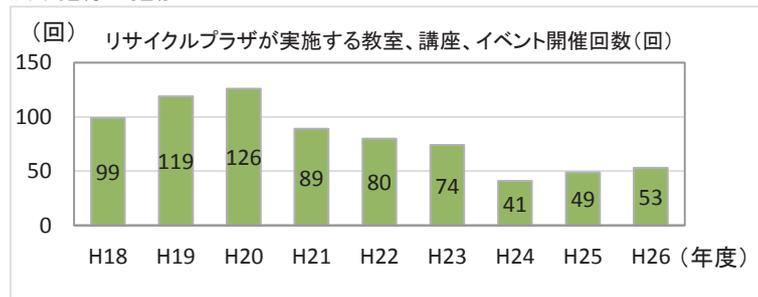
### （2）循環型社会\*の推進 担当当課：環境推進課、資源リサイクル課

#### ①環境に配慮した取組の推進

- 市の事務事業における環境負荷の低減に積極的に取り組むとともに、限りある資源の有効活用などに関する情報や学習機会を提供し、市民一人一人が身近に実践できるよう促進します。
- リサイクル商品などの普及とリサイクルプラザ\*を拠点として、3R\*（リユース、リデュース、リサイクル）活動を積極的に進めます。また、事業者などに対して、省エネ、省資源など環境に配慮した事業経営を促進します。

指標	リサイクルプラザ*が実施する教室、講座、イベント開催回数	
教室、講座、イベントの実施により、ごみの減量やリサイクルなどの啓発を行う。		
現状値（年度）	H32年度目標値	H37年度目標値
53回 (H26年度)	48回	48回

成果指標の推移



資料：資源リサイクル課

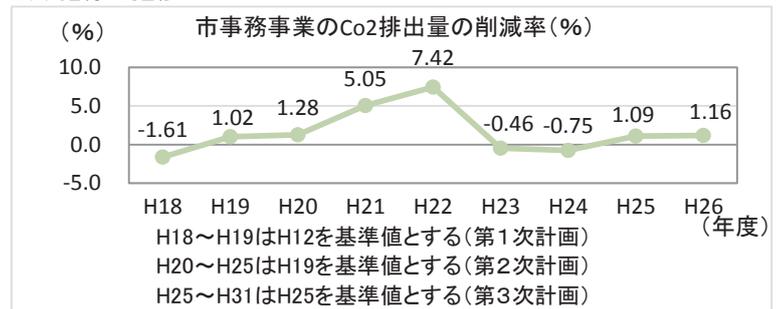
**(3) 低炭素社会\*の推進** 担当課：環境推進課

**①温室効果ガス\*の抑制の推進**

●温室効果ガス\*の排出抑制について、市有施設におけるエネルギー消費の効率化を図るなど、市が率先して取り組むとともに、環境への負荷の少ない太陽光などの自然エネルギーの有効活用や電力の自給自足化の可能性を探るなど、その利用の促進に努めます。また、市民、事業者が自主的・積極的に温暖化対策への取組が行われるよう促進します。

指標	市事務事業の Co2 排出量の削減率	
地球温暖化対策に関し、温室効果ガス*の排出の抑制と安定化に向けた実効性のある具体的な取組を着実に実施していくために設定		
現状値 (年度)	H32 年度目標値	H37 年度目標値
H25 年度比 1.16% (H26 年度)	H25 年度比 -1%	H25 年度比 -1%

成果指標の推移



資料：環境推進課

**(4) 環境教育・環境学習の推進** 担当課：環境推進課

**①市民などの環境意識の高揚**

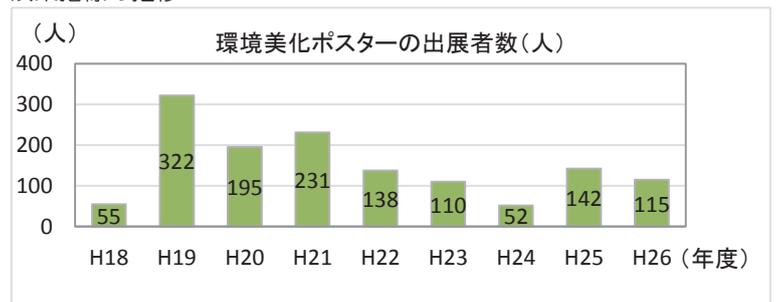
●市民、事業者が環境に関する理解を更に深められるよう、積極的に情報提供を行うとともに、環境施策に関する年次報告書「朝霞の環境」の発刊やイベントの開催などを通して、環境教育や学習の機会を提供します。また、生物多様性\*に関する情報を発信します。

**②環境美化の推進**

●路上喫煙防止や、きれいなまちづくり運動（市内一斉清掃活動）など、ポイ捨てや不法投棄の防止などモラルの向上に関する取組を進めながら、市民、事業者の自主的な環境美化活動を支援します。また、市民団体や関係機関と連携し、不法投棄などの対策の充実にも努めます。

指標	環境美化ポスターの出展者数	
毎年実施している環境美化ポスター表彰の出展者数 対象は、一小から十小の3年生と6年生		
現状値 (年度)	H32 年度目標値	H37 年度目標値
115 人 (H26 年度)	130 人	145 人

成果指標の推移



資料：環境推進課



路上喫煙防止キャンペーン



きれいなまちづくり運動

## 2 ごみ処理

- (1) ごみの減量・リサイクルの推進
- (2) ごみ処理体制の充実

### 現状と課題

- ごみの分別の徹底と再資源化を推進しており、人口が増加している中、ごみの排出量は減少していますが、今後は景気回復とともに、ごみの排出量は増えることが懸念されることから、ごみの減量化及び再資源化※をさらに推進するため、市民、事業者、行政の三者が連携して、3R※（リデュース、リユース、リサイクル）に取り組む必要があります。
- 本市のごみ処理施設の一部は老朽化しており、施設の更新に向けて検討する必要があります。また、し尿処理人口は、都市化とともに減少していますが、今後においても、一定のし尿処理が見込まれることから、朝霞地区一部事務組合によるし尿処理体制を維持していく必要があります。

### 目指す姿

市民、事業者、行政の三者の協働※により、ごみの排出量の抑制と、ごみの再資源化がさらに推進された「低炭素・循環型社会※」が構築されているまちを目指します。



クリーンセンター

## 具体的な施策

### （1）ごみの減量・リサイクルの推進 主担当課：資源リサイクル課

#### ①排出抑制の推進

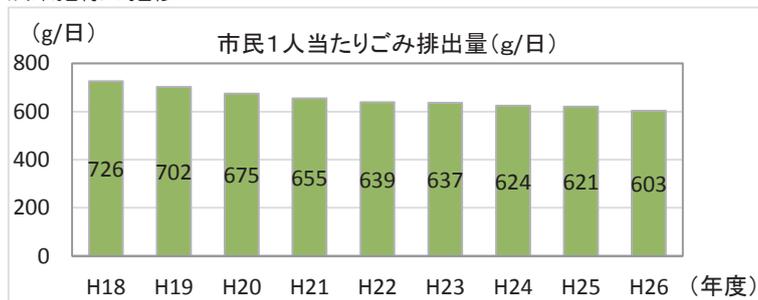
- 循環型社会\*の構築に向けて、市民、事業者、行政の連携・協働\*によりごみ排出量の削減に努めます。

#### ②資源化の推進

- 資源物のリサイクルを推進するため、分別収集及び集団資源回収を推進し、事業者による資源物回収の促進に努めます。

指標	市民1人当たりごみ排出量	
	限られた資源を有効に活用し、環境への負荷を低減させるため、ごみの減量化を目指す。	
現状値（年度）	H32年度目標値	H37年度目標値
603g/日 （H26年度）	580g/日	563g/日

成果指標の推移



資料：資源リサイクル課

### （2）ごみ処理体制の充実 主担当課：資源リサイクル課

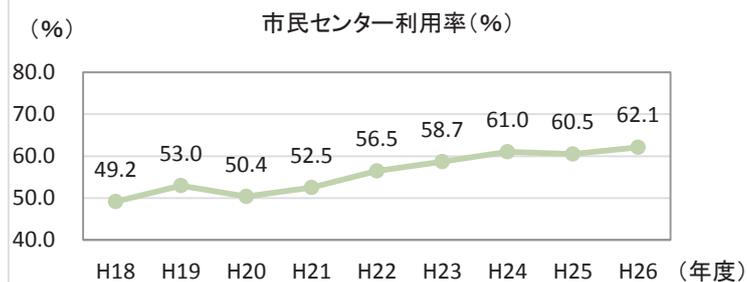
#### ①収集・運搬の充実

- 市民の快適で衛生的な生活を確保し、適正なごみ処理を行うため、ごみの排出状況に対応した効率的な収集・運搬体制を構築します。

#### ②計画的な施設整備の推進

- 新たにごみ処理施設の建設に向けて、計画的な施設整備を推進します。

指標	新ごみ焼却処理施設建設工事	
	新たにごみ焼却処理施設を建設する。	
現状値（年度）	H32年度目標値	H37年度目標値
検討 （H26年度）	工事	施設の運転管理



### 3 コミュニティ

(1) コミュニティ活動の推進

(2) 活動施設の充実

#### 現状と課題

- 地域コミュニティの要である自治会・町内会は、担い手不足や高齢化、住民意識の希薄化などの原因により加入率が低下しています。東日本大震災を契機に自治会・町内会の果たす役割が、防災・防犯など様々な面で再認識されたことから、自治会・町内会に加入し、住民相互の理解を深めておくことが大切になっています。また、ライフスタイルの変化によりマンションなど共同住宅の居住世帯が増えていることから、居住形態にかかわらず地域でコミュニケーションを図りやすくする工夫が必要です。
- 地縁組織である自治会・町内会と、目的型コミュニティであるNPO※などの市民活動団体※が引き続き主体的に活動し、相互の連携が図れるように支援していくことが課題です。
- 地域の活動拠点となる市民センター、コミュニティセンター、市民会館を、今後も利用しやすい施設として活用し、老朽化する施設を適切に維持管理することが課題です。

#### 目指す姿

市民が地域コミュニティ活動、文化活動を行える基盤を整え、地域住民のコミュニティ活動が活発に行われるまちを目指します。



彩夏祭 よさこい鳴子踊り

## 具体的な施策

### (1) コミュニティ活動の推進 主担当課：地域づくり支援課

#### ①コミュニティづくりの促進

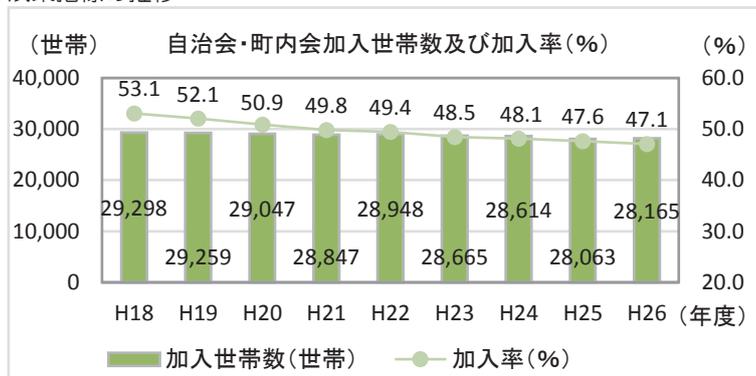
- 市民が相互に連携し主体的にまちづくりに参加するように意識高揚を図り、自治会・町内会及びコミュニティ関係団体への助成を行います。

#### ②コミュニティ活動の活性化

- 自治会・町内会や自治会連合会の運営の支援を行い、住民相互の連携機会の創出を促進します。
- 居住形態にかかわらず、市民が主体的にまちづくりに参加できるように意識の高揚を図ります。
- 朝霞市民まつり「彩夏祭」を通して、本市のシンボリックイベントとして市民意識の醸成を行います。
- 不動産業界など関係団体と連携し、自治会・町内会への加入促進を行います。

指標	自治会・町内会加入世帯数・加入率	
市内の世帯数に対する各自治会・町内会加入世帯数・加入率		
現状値(年度)	H32 年度目標値	H37 年度目標値
47.1% (H26 年度)	48.1%	48.6%

成果指標の推移



資料：地域づくり支援課

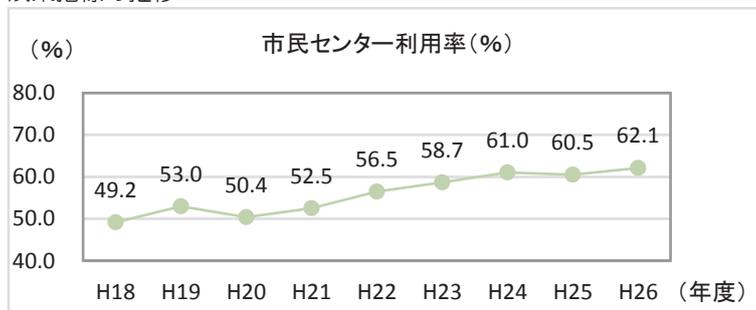
### (2) 活動施設の充実 主担当課：地域づくり支援課、コミュニティセンター

#### ①コミュニティ施設の利用促進

- 利用者などのニーズを把握し利便性の向上を図るほか、適切な施設の改修を行います。

指標	市民センター利用率	
利用可能枠に対する利用率		
現状値(年度)	H32 年度目標値	H37 年度目標値
62.1% (H26 年度)	60.64%	61.19%

成果指標の推移



資料：地域づくり支援課

## 4 市民活動

- (1) 市民活動への支援
- (2) 市民活動環境の充実

### 現状と課題

- 地域活動に参加する意識は高まってきており、NPO\*などの市民活動団体\*は増加傾向にあります。様々な分野の組織と市民活動団体\*の協力による地域課題の解決や、自らが公共的サービスを担える市民活動団体\*への支援、活動を支える人材の発掘や育成が必要です。
- 市民活動支援ステーション\*・シニア活動センター\*を利用する団体や個人が増えてきています。活動を支える環境づくりのため、利用しやすい施設の維持管理や設備の充実が必要です。

### 目指す姿

NPO\*などの市民活動団体\*の活動の基盤が整い、活動に必要な情報の収集や相談、組織化や運営などへの支援が受けられることで、市民活動が活性化するまちを目指します。



市民活動支援ステーション\*

## 具体的な施策

### (1) 市民活動への支援 主担当課：地域づくり支援課

#### ①市民活動の育成支援

- 市民活動団体\*などが自ら公共的サービスを担えるよう、自主性や自立性を促しながら自発的な活動を支援します。

#### ②市民活動の担い手育成

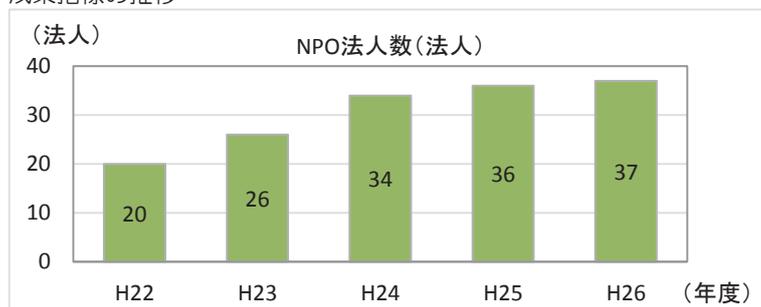
- NPO\*などの市民活動を支える人材の発掘や育成のために、市民活動の啓発やシニア世代などを対象としたセミナーを実施します。

#### ③市民活動への参加促進

- 様々な市民活動やボランティアに関する情報を収集し提供するとともに、市民活動団体\*の活動を紹介するなど情報発信を行います。

指標	NPO*法人数	
主たる事業所が市内にある NPO*法人数		
現状値(年度)	H32 年度目標値	H37 年度目標値
37 法人 (H26 年度)	50 法人	60 法人

成果指標の推移



資料：地域づくり支援課

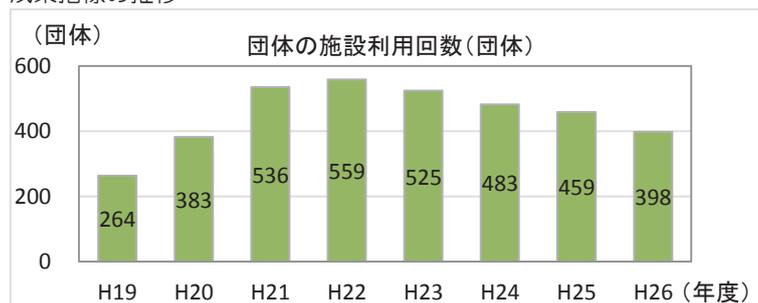
### (2) 市民活動環境の充実 主担当課：地域づくり支援課

#### ①市民活動拠点の充実

- 市民活動支援ステーション\*・シニア活動センター\*では、市民活動団体\*の運営や活動などに役立つ機器や備品を設置し、それらの備品を含め利用しやすい施設の維持管理をすることで、市民活動の一層の活性化を図ります。

指標	団体の施設利用回数(延べ)	
印刷機・ミーティングテーブルなどの設備利用、催しなどのポスター・チラシの設置、団体の活動や運営相談など、施設の利用団体数		
現状値(年度)	H32 年度目標値	H37 年度目標値
398 団体 (H26 年度)	470 団体	500 団体

成果指標の推移



注：市民活動支援ステーション\*・シニア活動センター\*は平成19年5月1日開所のため、平成19年度は11か月分の実績となる。

資料：地域づくり支援課